

## 六甲山森林整備から土砂災害を考える

～相楽園会館でフォーラムを開催～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

阪神・淡路大震災から20年を迎え、六甲山地での行政や地域の方々の様々な活動の発表を通して、これから100年の森づくりと土砂災害防止について考えるためのフォーラムを開催しました。

## 概要

日時：平成27年2月21日(土) 13:00～17:30

場所：相楽園会館

主催：六甲砂防事務所、兵庫県、神戸市

参加人数：230名



神戸市副市長のあいさつ

## 基調講演

○六甲山の植生はどのように変化するのか

：兵庫県立大学名誉教授 服部 保 氏

○森林は土砂災害を防げるか

：立命館大学教授 里深 好文 氏

他、事例紹介・リレートーク・パネル展示など



服部 保 氏



里深 好文 氏

## ○六甲山地での行政・市民団体の取り組みを紹介

森林管理と土砂災害防止を考える上で重要な、六甲山地の植生と土砂災害の関わりについての基調講演があり、その後、行政機関や市民団体による土砂災害防止や森づくりの取り組みについての発表がありました。

六甲砂防事務所は、平成26年の台風11号による砂防施設の効果事例や応急対策について説明するとともに、阪神・淡路大震災をきっかけに始まった「六甲山系グリーンベルト整備事業」と、現在取り組んでいる市民団体・企業との協働の森づくりについて紹介しました。

阪神・淡路大震災から20年目の今年、改めて多くの方に、六甲山地の森づくりと土砂災害防止の取り組みの大切さを知っていただきたいと考えています。



パネル展示の様子

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535